

米国第 117 回連邦議会における知財関連委員会の要職を公表

2021 年 2 月 19 日
JETRO NY 知的財産部
石原、赤澤

米国第 117 回連邦議会（2021 年 1 月 3 日～2023 年 1 月 3 日）における知的財産関連の委員会の要職が公表された。

委員会の構成は第 116 回議会と同様であり、上院司法委員会の下に知的財産小委員会¹、下院司法委員会の下に法廷・知的財産・インターネット小委員会²が設置されることとなった。

各委員会の委員長とランキングメンバー²は以下のとおりとなった。

- ・ 上院 知財小委 委員長
Patrick Leahy 議員（バーモント州選出、民主党）
- ・ 上院 知財小委 ランキングメンバー
Thom Tillis 議員（ノースカロライナ州選出、共和党） ※前回委員長
- ・ 下院 法廷・知財・インターネット小委 委員長
Hank Johnson 議員（ジョージア州選出、民主党） ※前回委員長
- ・ 下院 法廷・知財・インターネット小委 ランキングメンバー
Darrell Issa 議員（カリフォルニア州選出、共和党）

Leahy 議員は、先願主義や特許審判部（PTAB）を導入した 2011 年の Leahy-Smith America Invents Act (AIA) を提案した議員であり、知財分野の知見と人脈を有する。上院知財小委委員長への就任が有力視されていた Chris Coons 議員（デラウェア州選出、民主党）は、プライバシー・技術・法小委員会の委員長に就任することとなった。

Coons 議員は過去の議会において、PTAB 改革等を含む特許法改正法案（STRONGER Patents Act）を上程した³が、知財小委の委員長から外れたことで、同議員が第 117 回議会で同様の法案を成立させるのは困難と見込まれている。Coons 議員は、特許が無効にされにくくなるように PTAB 等を見直そうとしていた。また、Coons 議員は米国特許法第 101 条の特許適格性の問題についても、Tillis 議員らとともに、特許が無効にされにくくなるように改正草案⁴を提案していた。

他方で Leahy 議員は、AIA の制定時に、パテントトロールの問題に対処するために PTAB を導入し、質の低い特許が無効にされやすくするようにした。Leahy 議員が委員長となったことで、今後、特許が無効にされにくくすることを目的とした PTAB の改革や、特許適格性の改正草案について、議論が滞る可能性も指摘されている。また、Leahy 議員は上院歳出委員会の委員長も務めるため、知財小委に割ける時間が限られる可能性がある。

¹ 2007 年以降休止しており、第 116 回議会で再度設置された。

² 野党の最古参議員で、委員長と並ぶ要職。

³ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnnews/us/2019/20190722.pdf

⁴ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnnews/us/2019/20190524.pdf

下院 法廷・知財・インターネット小委の委員長に就任した Johnson 議員は、再任にあたり、パンデミックからの経済復興に向けて、発明家・起業家・小規模企業を支援するために知財法の近代化・合理化が重要だと述べた⁵。

また、Issa 議員は、議員になる前に 37 件の特許を取得した。上述の AIA の共同提案者でもあり、特許制度改革の提唱者の一人として知られている。

なお、上院知財小委の委員は現時点で未公表であるが、下院の法廷・知財・インターネット小委の委員は公表済み⁶である。

(以上)

⁵ <https://hankjohnson.house.gov/media-center/press-releases/congressman-johnson-voted-chairman-judiciary-subcommittee>

⁶ <https://judiciary.house.gov/news/documentsingle.aspx?DocumentID=3524>